

NEWS RELEASE

2010年5月14日

報道関係各位
2010年3月期(第2期)連結決算概況
I. 当期の連結業績(2009年4月1日～2010年3月31日)
1) 経営成績(単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率
売上高	1,084,291	955,947	13.4%
営業利益	98,481	91,520	7.6%
経常利益	109,057	96,103	13.5%
当期純利益	67,443	47,083	43.2%

2) 財政状態(単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率
総資産	1,458,375	1,298,789	12.3%
純資産	948,456	863,815	9.8%
自己資本比率	64.2%	62.3%	-
1株当たり純資産*	1,964. ⁷⁰	36,005. ²⁶	9.1%

* 1株当たり純資産の単位:円

* 当社は、2009年6月30日を効力発生日とし、当社普通株式を1株につき20株の割合をもって分割しました。

3) キャッシュ・フローの状況(単位:百万円)

	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,508	58,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,014	△213,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,139	172,196
現金及び現金同等物の期末残高	321,306	230,104

4) 投資額(単位:百万円)

	当 期	前 期	対前期増減率
研究開発費	151,848	135,900	11.7%

5) 連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結子会社数:65 社
持分法適用会社数:12 社

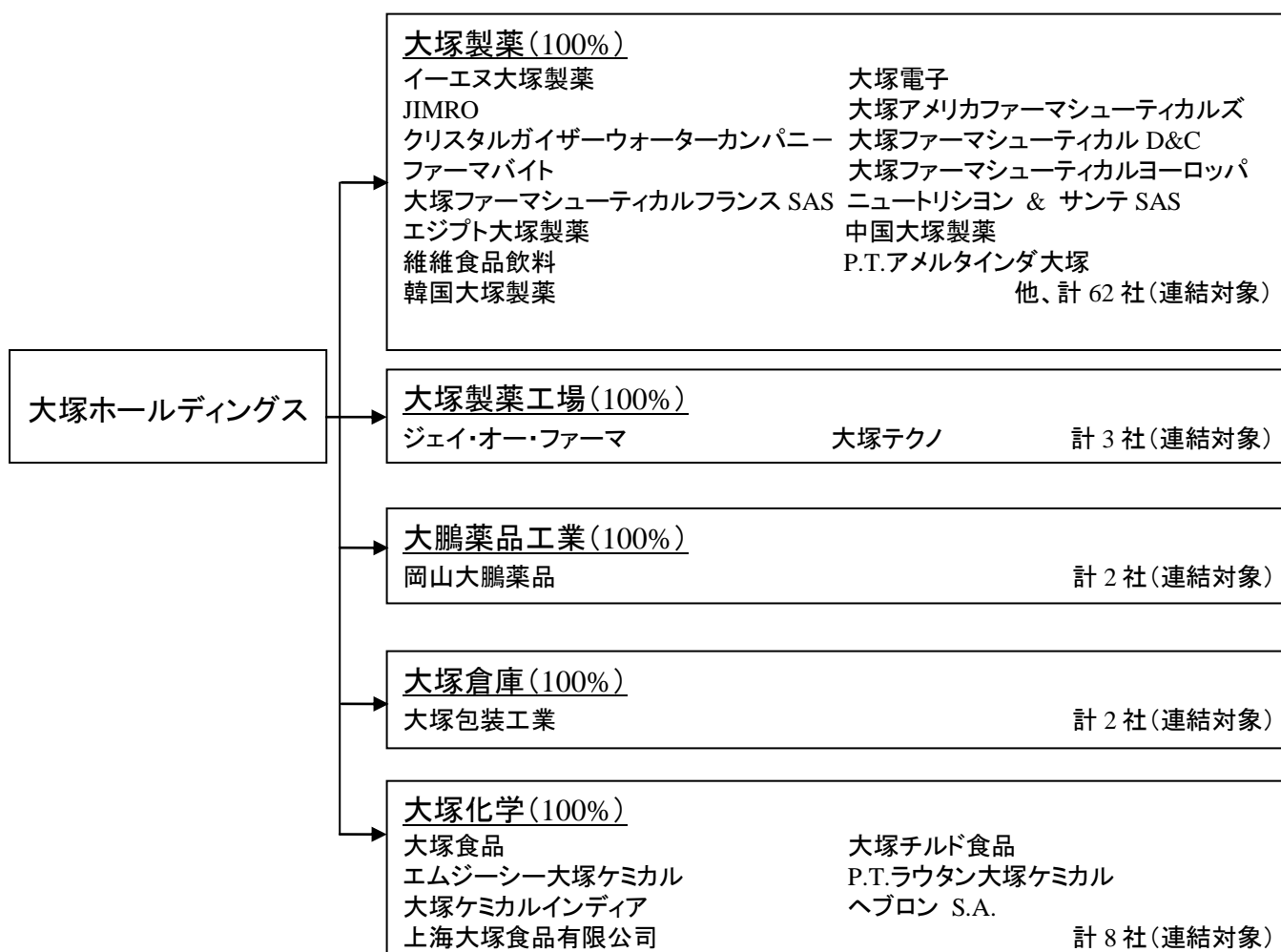
6) 連結範囲および持分法適用の異動状況

連結子会社数(増加): 9 社
大塚ファーマシューティカルフランス SAS
岡山大鵬薬品株式会社
大塚チルド食品株式会社
群馬大塚食品株式会社
エムジーシー大塚ケミカル株式会社
P.T.ラウタン大塚ケミカル
大塚ケミカルインドア
ヘブロン S.A.
上海大塚食品有限公司

連結子会社数(減少): 9 社
大塚ベバレジ株式会社
群馬大塚食品株式会社
大塚化学ホールディングス株式会社
フィナンシエール ナルドベル SAS 他 5 社

II. 事業系統図(2010年3月31日現在)

連結対象会社:親会社+77 社



III. 事業の経過及び成果

当期の概況:

(単位:億円)

	当 期	前 期	対前期増減率
売上高	10,842	9,559	13.4%
国内*	5,972	6,136	△2.7%
海外**	4,870	3,423	42.3%
経常利益	1,090	961	13.5%
当期純利益	674	470	43.2%

* 親会社および国内連結対象会社の売上 ** 海外連結対象会社の売上

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界規模の景気後退の影響を受け、雇用情勢の悪化や個人消費の落ち込み、デフレ経済の進行など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境下において、当社グループは革新的かつ独創的な製品を通じて世界の人々の健康に貢献し続けることを使命と考え、グローバルに事業を展開しました。また、当社は株式交換により大塚化学(株)を子会社化し、当社グループの経営基盤及び連携を一層強化しました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は 1,084,291 百万円、営業利益は 98,481 百万円、経常利益は 109,057 百万円、純利益は 67,443 百万円となりました。

IV. セグメント情報

●医療関連事業

(単位:億円)

	当 期	前 期	対前期増減率
売 上 高	7,159	6,778	5.6%

治療薬の分野では、大塚製薬(株)の抗精神病薬「エビリファイ」(「ABILIFY」)が、順調に売上を拡大しました。国内では、新剤形「エビリファイ内用液 0.1%」を 4 月に発売し、治療選択肢の拡大等により売上を伸ばしました。また、米国のブリistol・マイヤーズ スクイブ社との間で、「エビリファイ」(「ABILIFY」)の米国での開発・商業化に関する契約期間を延長する契約を 4 月に締結しました。この契約に加えて、同社が開発した 2 つの抗悪性腫瘍剤に関する提携契約を締結し、がん領域における新たな協力関係を築きました。

胃炎・胃潰瘍治療剤「ムコスタ」および抗血小板剤「プレタール」は、「ムコスタ」で国内における後発品の影響が懸念されましたが、両剤ともに情報提供活動の徹底により、業績は堅調に推移しました。経口選択的バソプレシン V₂ 受容体拮抗剤「SAMSCA」は、米国で 6 月に発売して順調に処方伸ばしており、欧州でも 9 月以降順次販売を開始しております。

大鵬薬品工業(株)においては、抗悪性腫瘍剤「ティーエスワン」の新剤形「ティーエスワン配合顆粒」を国内で6月に発売し、売上も順調に推移しました。「ティーエスワン」は、中国で7月に発売、シンガポールでは8月に現地導出先の Pharmaforte 社を通じて販売を開始し、海外での展開を着実に進めております。還元型葉酸製剤「ユーゼル」は、錠剤を小型化し服用しやすくすることで新規採用が進み、売上が拡大しました。

また、H₂受容体拮抗作用の抗潰瘍剤「プロテカジン」も引き続き順調に推移しました。β-ラクタマーゼ阻害剤である「タゾバクタム」を配合した注射用抗生物質製剤「ゾシン」は、海外導出先のファイザー社により世界90カ国以上で販売され、国内では導出先の大正富山医薬品(株)から販売され売上に寄与しました。

臨床栄養分野では、(株)大塚製薬工場が世界で初めて5種類の微量元素を配合した高カロリー輸液用「糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン・微量元素液「エルネオパ1号輸液」「エルネオパ2号輸液」を9月に発売し、業績に貢献しました。血液凝固阻止剤ヘパリンロック液なども引き続き堅調な業績を示しました。

診断薬の分野では、インフルエンザの流行の影響もあり、大塚製薬(株)のインフルエンザウイルスキット「クイックナビ-Flu」の需要が大きく増加しました。

これらにより、医療関連事業の売上高は715,901百万円となりました。

●ニュートラシューティカルズ関連事業

(単位:億円)

	当 期	前期参考値 *注
売 上 高	2,469	2,179

*注) 当期から事業セグメントを変更いたしました。上記の前期参考値は当期セグメントに基づく参考値です。

大塚製薬(株)のバータイプの大豆栄養製品「SOYJOY」は、現在7カ国・地域で販売しており、グローバル製品としての育成に努めております。国内では4月に「SOYJOY」バナナCaプラス、9月に「SOYJOY」ブルーベリーを発売し、ラインアップを11種類に拡充しました。

「ポカリスエット」は、アジア諸国の新市場を開拓し海外でのブランド構築が着実に進展しており、特にインドネシアでの販売が順調に拡大しました。国内では900mlペットボトルにおいて容器重量約30%の軽量化を実現したエコボトルを8月に発売し、更なるブランド育成に注力しました。

バランス栄養食「カロリーメイト」ブロックでは、9月に新アイテム「メープル味」を追加し、成果を得ることができました。

「肌の健康」をテーマにしたコスメディクス(健粧品)分野におきましては、全身スキンケアブランド「UL・OS」のラインアップを拡充、積極的なプロモーション活動によりブランド認知が向上し、ユーザー数拡大につながりました。

大鵬薬品工業(株)においては、主力製品「チオビタ」ブランドが、ドリンク市場の低迷が続く中、積極的な営業活動により売上が伸長しました。

これらにより、ニュートラシューティカルズ関連事業の売上高は246,969百万円となりました。

●消費者関連事業

(単位:億円)

	当 期	前期参考値 *注
売 上 高	501	519

*注) 当期から事業セグメントを変更いたしました。上記の前期参考値は当期セグメントに基づく参考値です。

大塚食品(株)では、カロリーコントロール食品「マンナンヒカリ」の市場拡大を図り、市販用及び業務用での新規販売ルートを開拓して、売上に貢献しました。

大塚ベバレジ(株)では、「シンビーノ ジャワティストレート」の市場定着を目指したマーケティング活動を継続するとともに、「クリスタルガイザー」のブランド強化に努めました。

この両社は、それぞれの強みを生かしたシナジー効果創出による更なる事業拡大を目指し、1月に大塚食品(株)を存続会社として合併し、新生大塚食品(株)としてスタートしました。

消費者関連事業の売上高は、長引く消費不振の影響を受け、50,113 百万円に留まりました。

●その他の事業

(単位:億円)

	当 期	前 期	対 前 期 増 減 率
売 上 高	713	300	137.2%

2009年7月1日、大塚化学(株)は大塚ホールディングス(株)の完全子会社として新たなスタートを切りました。大塚化学(株)では、機能化学品事業において、期後半より主要ユーザーである自動車、電子部品等向けに需要の回復が顕著に見られ、通期ではほぼ前年並みの売上実績を確保しました。ファインケミカル事業は、日本とインドのプラントの相乗効果によるコストダウンを行い、引き続き堅調に推移しました。

大塚倉庫(株)では、効率的かつ環境に配慮した物流に取り組みました。

これらにより、その他の事業の売上高は 71,308 百万円となりました。

V. 研究開発の概況

当社グループの研究開発活動は、世界の人々の健康に役立つ革新的な製品の開発を目指し、疾病の予防、診断、治療、そして日々の健康の維持・増進を視野において活動しています。当連結会計年度における研究開発費は 151,848 百万円です。

(現在開発中の医薬品については別紙ご参照ください)

【連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年3月31日)	当連結会計年度 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	235,839	300,668
受取手形及び売掛金	225,766	231,734
有価証券	12,240	50,211
商品及び製品	55,284	64,163
仕掛品	19,472	22,948
原材料及び貯蔵品	29,250	28,308
繰延税金資産	19,865	28,290
その他	25,058	25,588
貸倒引当金	△490	△397
流動資産合計	622,287	751,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	255,513	275,703
減価償却累計額	△168,890	△175,960
建物及び構築物（純額）	86,623	99,743
機械装置及び運搬具	252,794	271,308
減価償却累計額	△203,498	△217,705
機械装置及び運搬具（純額）	49,295	53,603
工具、器具及び備品	61,498	66,232
減価償却累計額	△50,634	△54,799
工具、器具及び備品（純額）	10,864	11,433
土地	69,980	75,816
リース資産	12,808	16,159
減価償却累計額	△3,678	△5,920
リース資産（純額）	9,129	10,238
建設仮勘定	5,340	10,099
その他	13,092	—
有形固定資産合計	244,326	260,935
無形固定資産		
のれん	41,648	44,751
その他	44,800	43,647
無形固定資産合計	86,449	88,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年3月31日)	当連結会計年度 (平成22年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	273,074	278,522
出資金	23,616	24,349
長期貸付金	4,075	3,335
繰延税金資産	27,981	33,974
その他	19,659	20,012
投資損失引当金	△1,336	△2,445
貸倒引当金	△1,371	△286
投資その他の資産合計	345,698	357,463
固定資産合計	676,474	706,797
繰延資産	27	62
資産合計	1,298,789	1,458,375
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,210	93,967
短期借入金	37,422	62,707
リース債務	3,585	3,592
未払法人税等	9,271	35,331
賞与引当金	15,983	16,153
役員賞与引当金	302	289
返品調整引当金	169	160
その他	82,341	99,606
流動負債合計	233,287	311,809
固定負債		
長期借入金	92,848	62,388
リース債務	5,590	7,601
繰延税金負債	15,564	13,193
退職給付引当金	40,614	45,081
役員退職慰労引当金	3,212	3,313
負ののれん	33,861	31,397
その他	9,995	35,133
固定負債合計	201,686	198,109
負債合計	434,973	509,919

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成21年3月31日)	当連結会計年度 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,946	42,946
資本剰余金	355,816	432,482
利益剰余金	468,065	532,032
自己株式	△22,073	△45,354
株主資本合計	844,753	962,105
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△715	4,258
繰延ヘッジ損益	—	△14
為替換算調整勘定	△34,608	△30,059
評価・換算差額等合計	△35,324	△25,816
少数株主持分	54,385	12,166
純資産合計	863,815	948,456
負債純資産合計	1,298,789	1,458,375

【連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月 31日)	当連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月 31日)
売上高	955,947	1,084,291
売上原価	322,596	356,607
売上総利益	633,351	727,683
販売費及び一般管理費		
販売促進費	158,259	198,682
給料及び賞与	68,723	78,261
賞与引当金繰入額	9,100	9,542
退職給付費用	6,127	7,891
役員退職慰労引当金繰入額	1,454	711
役員賞与引当金繰入額	268	289
減価償却費	12,401	14,661
のれん償却額	2,919	4,284
研究開発費	135,900	151,848
その他	146,674	163,028
販売費及び一般管理費合計	541,830	629,202
営業利益	91,520	98,481
営業外収益		
受取利息	3,065	1,380
受取配当金	994	1,568
負ののれん償却額	2,464	2,464
持分法による投資利益	1,782	4,922
共同販売権延長収益	—	1,830
その他	2,738	2,693
営業外収益合計	11,045	14,859
営業外費用		
支払利息	1,560	3,167
為替差損	2,951	595
その他	1,950	519
営業外費用合計	6,462	4,282
経常利益	96,103	109,057

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	77	43
持分変動利益	331	—
退職給付制度終了益	1,097	—
自主回収製品処分益	428	—
補助金収入	—	237
その他	198	89
特別利益合計	2,133	370
特別損失		
固定資産除却損	951	1,121
減損損失	1,565	2,359
投資有価証券評価損	4,016	1,559
商品自主回収損失	1,006	—
投資損失引当金繰入額	—	1,458
その他	578	988
特別損失合計	8,118	7,488
税金等調整前当期純利益	90,117	101,939
法人税、住民税及び事業税	35,601	52,642
法人税等調整額	548	△19,157
法人税等合計	36,149	33,485
少数株主利益	6,884	1,011
当期純利益	47,083	67,443

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	90,117	101,939
減価償却費	37,470	42,796
減損損失	1,565	2,359
のれん償却額	455	1,820
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	131	4,215
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	72	△26
受取利息及び受取配当金	△4,060	△2,949
支払利息	1,560	3,167
持分法による投資損益 (△は益)	△1,782	△4,922
持分変動損益 (△は益)	△331	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,292	193
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,264	△7,375
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,221	5,296
長期前受収益の増減額 (△は減少)	—	29,896
その他	4,967	19,096
小計	108,388	195,507
利息及び配当金の受取額	6,862	8,895
利息の支払額	△1,535	△3,216
法人税等の支払額	△55,244	△27,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,470	173,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,187	△39,719
有形固定資産の売却による収入	748	158
投資有価証券の取得による支出	△149,459	△28,764
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,178	15,718
出資金の払込による支出	△2,750	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△34,469	—
貸付けによる支出	△1,528	△1,367
貸付金の回収による収入	136	111
定期預金の預入による支出	△9,078	△8,996
定期預金の払戻による収入	3,518	8,704
その他	△1,717	△4,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,610	△59,014

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	19,334	13,468
長期借入れによる収入	73,556	3,472
長期借入金の返済による支出	△6,353	△27,607
社債の償還による支出	—	△7,591
株式の発行による収入	94,904	—
配当金の支払額	△4,066	△5,879
少数株主への配当金の支払額	△1,048	△914
その他	△4,130	△3,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	172,196	△28,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,695	958
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,361	87,313
現金及び現金同等物の期首残高	222,647	230,104
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	95	3,889
現金及び現金同等物の期末残高	230,104	321,306

大塚グループ 開発品目一覧表

(2010年3月末時点)

開発コード または製品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
中枢神経領域						
OPC-14597 (エビリファイ/ABILIFY*)	アリピプラゾール	大塚製薬	ドパミンパーシャル アゴニスト	自閉症/経口剤	米	承認 2009/11
				統合失調症/デポ製剤	米、欧	Phase III
				双極性感情障害躁病/経口剤	日	Phase III
				大うつ病補助療法/経口剤	日	Phase III
				トゥレット病/経口剤	韓国	Phase III
L059 (KEPPRA*)	レベチラセタム	UCB	抗てんかん剤	てんかん 部分発作/経口剤	日	申請中
SPM-962 (NEUPRO*)	ロチゴチン	UCB	ドパミンアゴニスト	パーキンソン病/貼付剤	日	Phase III
				むずむず脚症候群/貼付剤	日	Phase III
OPC-34712		大塚製薬	ドパミンパーシャル アゴニスト	大うつ病補助療法/経口剤	米	Phase II
				統合失調症/経口剤	米、欧	Phase II

循環器領域

OPC-41061 (SAMSCA*)	トルバプタン	大塚製薬	バソプレシンV ₂ 受容体拮抗剤	心性浮腫/経口剤	日	申請中
				常染色体優性 多発性嚢胞腎/経口剤	グローバル	Phase III
				肝性浮腫/経口剤	日	Phase III
				低ナトリウム血症/経口剤	中国	Phase II/III
				肝性浮腫/経口剤	中国	Phase II

大塚グループ 開発品目一覧表

(2010年3月末時点)

開発コード または製品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
がん・がんサポーター領域						
ABI-007 (アブラキサン)	アルブミン結合 パクリタキセル	アブラキ西斯 バイオサイエンス	抗がん剤(ナノ製剤)	乳がん/注射剤	日	申請中
				非小細胞肺がん/注射剤	日	Phase III
				胃がん/注射剤	日	Phase II
PALO (アロキシ)	パロノセトロン	ヘルシン ヘルスケア	5-HT ₃ 受容体拮抗剤	悪心・嘔吐/注射剤	日	承認 2010/1
OVF	フェンタニル	セファロン	麻薬性鎮痛剤	がん性疼痛/口腔粘膜吸収剤	日	Phase III
S-1 (ティーエスワン)		大鵬薬品工業	抗がん剤(代謝拮抗剤)	胃がん/経口剤	米	Phase III
				胃がん/経口剤	欧	申請中
				子宮頸がん/経口剤	日、アジア	Phase III
				肝細胞がん/経口剤	日	Phase III
				非小細胞肺がん、膵がん/ 経口剤	米	Phase II
				前立腺がん、腎細胞がん/ 経口剤	日	Phase II
TSU-68		スージェン	抗がん剤(分子標的剤)	肝細胞がん/経口剤	日	Phase II
				乳がん/経口剤	日、アジア	Phase II
TAS-102		大鵬薬品工業	抗がん剤(代謝拮抗剤)	結腸・直腸がん/経口剤	日、米	Phase II
TAS-106		大鵬薬品工業	抗がん剤(代謝拮抗剤)	頭頸部がん/注射剤	米、アジア	Phase II
OTS102		オンコセラピー サイエンス	治療用がんワクチン	進行性膵がん/注射剤	日	Phase II/III
				胆道がん/注射剤	日	Phase II
オーアイエフ	インターフェロンα	林原生物化学研究所	天然型 インターフェロンα 製剤	高度進行 肝がん(5FU併用)/注射剤	日	Phase II
SATIVEX*		GWファーマ シューティカルズ	カンナビノイド(THC, CBD)	がん性疼痛/ 口腔内スプレー製剤	米	Phase II
OPB-31121		大塚製薬	抗がん剤	抗がん剤/経口剤	米、アジア	Phase I
OPB-51602		大塚製薬	抗がん剤	抗がん剤/経口剤	米、アジア	Phase I
OTS11101		オンコセラピー サイエンス	治療用がんワクチン	進行性膵がん/注射剤	日	Phase I

大塚グループ 開発品目一覧表

(2010年3月末時点)

開発コード または製品名	一般名	オリジン	薬効/分類	効能/剤型	国/地域	開発段階
その他領域						
FRG-8813 (プロテカジン)	ラフチジン	富士レビオ	H ₂ 受容体拮抗剤	逆流性食道炎/経口剤	日	承認 2010/3
P4 (バップフォー)	塩酸プロピペリン	アポゲファ	尿失禁・頻尿治療剤	過活動膀胱/経口剤	日	承認 2009/12
CDP870 (CIMZIA*)	セルトリズマブ ペゴル	UCB	PEG化抗TNFα 抗体	クローン病/注射剤	日	申請準備中
				関節リウマチ/注射剤	日	Phase II/III
OPC-12759	レバミピド	大塚製薬	ムチン産生促進剤	ドライアイ/点眼剤	日	Phase III
					米	Phase II
ACU-4429		アキュセラ	ビジュアルサイクル モデュレーター	ドライ型加齢 黄斑変性/経口剤	米	Phase II
ONGLYZA*	サクサグリプチン	ブリistol・マイヤーズ スクイブ	DPP-4阻害剤	2型糖尿病/経口剤	日	Phase II/III
OPC-67683		大塚製薬	抗結核薬	多剤耐性肺結核症/経口剤	グローバル	Phase II
OPC-6535	テトミラスト	大塚製薬	抗炎症剤	クローン病/経口剤	日、韓	Phase II/III
				慢性閉塞性肺疾患 (COPD)/経口剤	日、米、 中、韓	Phase II
TAC-201		明治乳業	スギ花粉症 ペプチド免疫療法剤	スギ花粉症/注射剤	日	Phase II
NST-141		日本新薬	抗そう痒剤	アトピー性皮膚炎に伴う そう痒/外用剤	日	Phase I / II

診断薬

OMR-12200 (フェリセルツ)	クエン酸鉄 アンモニウム	大塚製薬	MRI用経口消化管造影剤	胆道膵管撮影/経口剤	日	承認 2010/3
ODK-0501 (ラビラン肺炎球菌)	肺炎球菌キット	大塚製薬	肺炎球菌感染症 診断補助剤	肺炎球菌感染症 診断補助/体外診断薬	日	申請中
ODK-0702 (ラビランHPスティック)	ヘリコバクターピロリ 抗体キット	大塚製薬	ヘリコバクターピロリ感染症 診断補助剤	ヘリコバクターピロリ感染症 診断補助/体外診断薬	日	申請中
ODK-0801 (WT1 mRNA測定キット)	ウイルムス腫瘍1遺伝子 (WT1)mRNAキット	大塚製薬	骨髄異形成症候群 診断補助・予後判定マーカー剤	骨髄異形成症候群 診断補助/体外診断薬	日	申請中

注1: 大塚グループでは、原則としてPhase II 以上の臨床試験について開示していますが、抗がん剤等はPhase I についても公開しています。

注2: *は海外での販売名